

令和6(2024)年度 栃木支部 夏山山行 報告

- 1 期 日：令和6(2024)年8月24日(土)～26日(月)
- 2 場 所：尾瀬沼、尾瀬ヶ原、燧岳、三条の滝、至仏山
- 3 参加者：(会 員) 渡邊雄二、高野正道、鬼頭秀夫、浅川とみ子
(ゲスト) 神長善次、内山昭夫、黒岩春彦、斎藤一興 計8名

4 行 程と行動概要

8/24 日光駅前集合(7:30)～大清水駐車場(9:40-10:00)～低公害シャトルバス～一ノ瀬(10:00-10:30)～三平峠(11:50-12:15)～尾瀬沼山荘(12:30-12:45)～長蔵小屋着(13:10) 宿泊

日光駅前に予定の時間で全員集合し、3台の車で金精峠を越えて戸倉の尾瀬ロッジ専用駐車場に1台をデポし、2台で大清水の駐車場に到着した。尾瀬ロッジの宿泊者は専用駐車場を無料で利用できるのが便利。大清水の駐車場に車をデポして、シャトルバスで一ノ瀬に行った。わずか10分の乗車(4Km)だが料金は一人1,000円。若者たちの多くはバスを利用せずあるっていた。

入山準備をしていると見慣れた女性が山から下りてくる。なんと、長蔵小屋のおかみさんの紀子さん、今朝何度か彼女に電話したが、「電波の届かない範囲」とのスマホの返答、理由が判明した。久しぶりの再会、みんなで記念撮影をして別れた。

蒸し暑い中をのんびりペースで尾瀬沼を目指す。夏休み中なのだが登山者は非常に少ない。台風接近の天気予報なので控えているのだろう。三平峠を越えて尾瀬沼のほとりへ、尾瀬沼山荘前で対岸の燧岳を眺めながらまったり。雲行きが怪しくなってきたので長居せず長蔵小屋に向かった。小屋の手前でポツポツとやってきたが、滑り込みセーフで小屋に到着、到着と同時にすさまじい豪雨でぬれずに済んだ。

ラッキー。長蔵小屋では、差入れのお酒などいただき歓待を受けた。まだ午後1時を過ぎたばかり、早速、情緒あふれる部屋で差入れのお酒で登山談義と言いたい世間話に盛り上がった。(曇りのち雷雨)

8/25 朝食を6時に取り、それぞれの好みのルートで今日の宿泊地である山の鼻の尾瀬ロッジに向かった。

鬼頭班は燧岳、神長・内山班は尾瀬沼西岸から尾瀬沼、高野・浅川班は尾瀬ヶ原散策、黒岩・斎藤・渡邊班は平滑ノ滝、三条ノ滝経由と各自の責任で行動した。

このところ天気は不順で、正午ごろから尾瀬ヶ原一帯は猛烈な雷雨となり、尾瀬ヶ原を歩いている登山者もほとんど見られない。夏休み中の尾瀬ヶ原とは思えない静けさ、ただし雷雨の音はすさまじい。

各班とも何事もなく、15時には全員が尾瀬ロッジに入所した。4月末に予約した時には大変混雑している様子だったが、なんと今日の宿泊客は私たち8名と外国人の親子4名のみの、静かな夜だった。(曇りのち雷雨)

8/26 6時に朝食をとり、至仏山へと向かった。神長・内山班は登山せずにまっすぐに鳩待峠に向かうことにした。山の鼻から至仏山へはほぼ直登、玄武岩の滑りやすい濡れた登山道を進む。時折振り返って尾瀬ヶ原や燧岳を見渡すが、燧岳の頂上は雲に覆われたままであった。登り専用の登山道だが、連日の雨天気で今日も登山者は少ない。山頂には9:55に到着、20分ほど休憩ののち、雲行きが怪しいので下山を急



ぐ。案の定、小至仏山を越える 11 時ころにはにわか雨に遭遇、30 分ほどで止んだのでほとんどぬれずに済んだ。オオヤマ沢田代を過ぎてからはだらだらの下り坂、予定よりやや遅れて 13 時に鳩待峠に到着した。神長・内山班は長時間鳩待峠で登山班を待っていただき感謝でした。

戸倉へはワゴンタクシーを 1 台チャーターできて、スムーズに戸倉の駐車場に到着した。大清水の車を回収し、戸倉の駐車場にて解散となった。日光駅には予定通り 14 時に到着した。

今回の夏山山行は、夏の尾瀬のシーズン中なので山小屋の予約など大変な混雑を予想していたが、台風の接近でほとんどのお客がキャンセルしたようである。その分、私たちは静かな尾瀬を楽しむことができた。

また、尾瀬という安全が管理されている山域なので、各自の希望と責任によって行動することができたことは、雨にあったとは言え充実したものになったといえる。(文責 渡邊)

